

# 令和3年度「まちかどコメンテーター」

## アンケート調査結果

### <抜粋版>

## 鹿児島市

### ・第6回

- 1 農林水産業の振興に向けた地域資源の活用について（農政総務課）
- 2 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」について（文化財課）
- 3 まちかどコメンテーターアンケートについて（市民協働課）



## 目 次

I	調査の概要 .....	1
II	農林水産業の振興に向けた地域資源の活用について .....	4
III	日本遺産「薩摩の武士が生きた町」について .....	20
IV	まちかどコメンテーターアンケートについて .....	28



# I 調査の概要

## 1. まちかどコメンテーターの概要

### (1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

### (2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,500 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

### (3) 任期

令和 3 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日

### (4) 人数

327 人（第 6 回調査実施時点）

### (5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

## 2. 第6回調査の概要

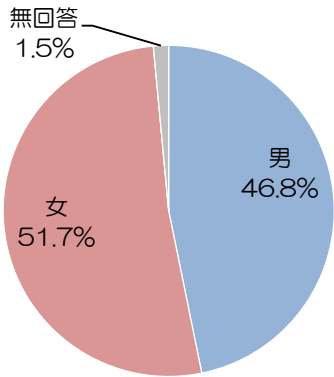
### (1) 調査概要

テーマ/担当課	農林水産業の振興に向けた地域資源の活用について	農政総務課
	日本遺産「薩摩の武士が生きた町」について	文化財課
	まちかどコメンテーターアンケートについて	市民協働課
調査期間	令和4年2月17日～3月11日	
回答率	62.1% (203人)	

### (2) 回答者属性

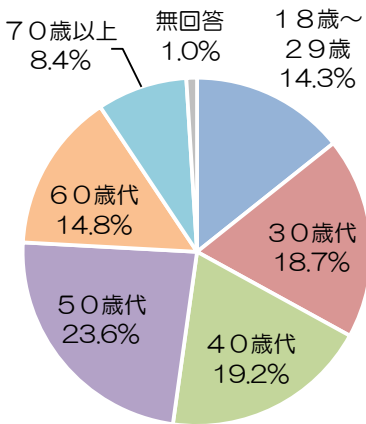
#### ① 性別

選択肢	回答数	割合
男	95	46.8%
女	105	51.7%
その他・答えたくない	0	0.0%
無回答	3	1.5%
サンプル数	203	100.0%

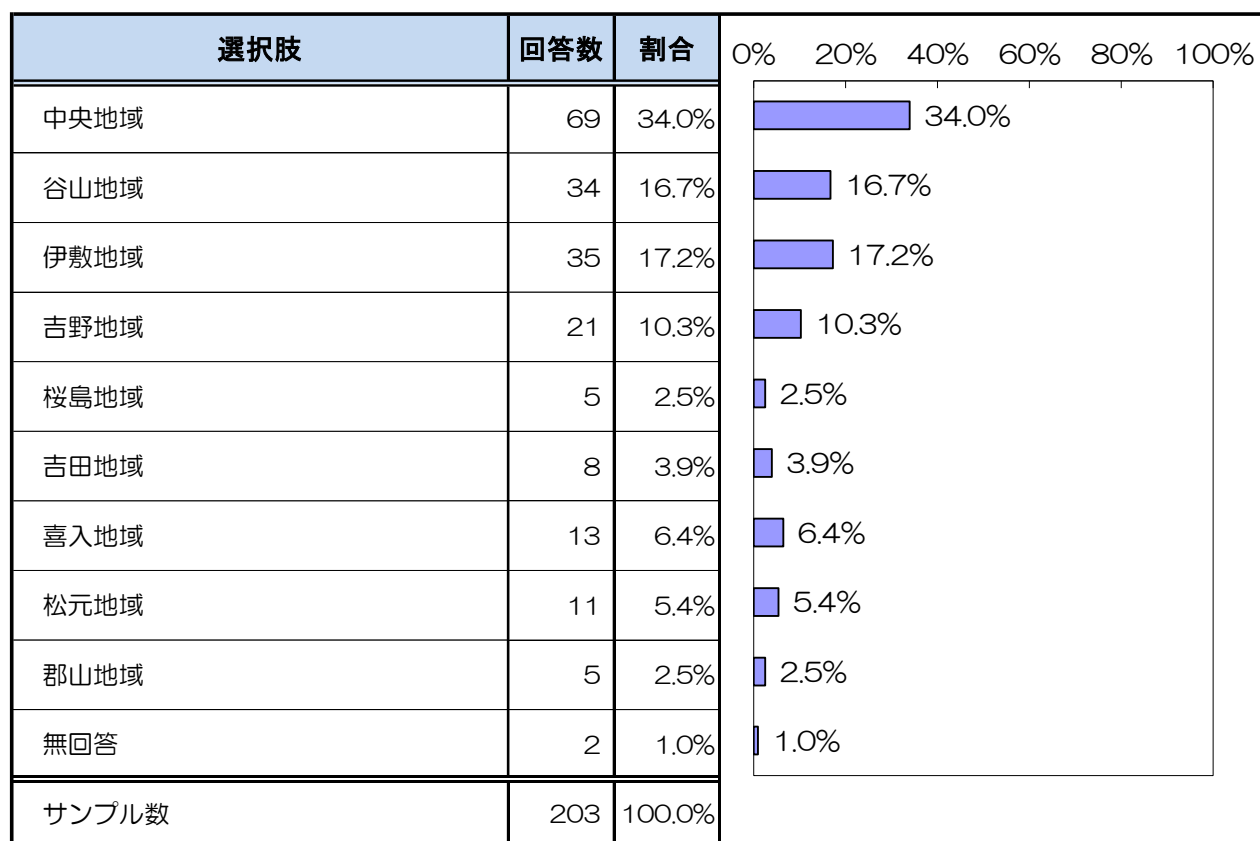


#### ② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	29	14.3%
30歳代	38	18.7%
40歳代	39	19.2%
50歳代	48	23.6%
60歳代	30	14.8%
70歳以上	17	8.4%
無回答	2	1.0%
サンプル数	203	100.0%



### ③ 居住地



## 3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。

## Ⅱ 農林水産業の振興に向けた地域資源の活用について

### 1. 調査の目的

農林水産業を取り巻く環境は、農林水産業従事者の高齢化や担い手不足、農林水産物の価格低迷や資材の高騰に加え、気候変動等による自然災害の頻発化など、厳しさを増しています。

一方、農林水産業が営まれる自然豊かな地域には、農地や森林、それらを含む優れた景観、新鮮で高品質な農林水産物などの地域資源があります。

これらの地域資源を生かし、本市農林水産業の振興に向けて、交流体験機会の充実による農林水産物の消費拡大や農産加工品等の開発による付加価値の向上などを図りたいと考えています。

そこで、皆様のご意見を伺い、今後の事業推進の参考とさせて頂くために、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

### 2. 調査結果を受けて担当課（農政総務課）からのコメント

市民の皆様に、鹿児島市内の農林水産業に関するイベントへの参加や農林水産業が営まれている地域への訪問、農林水産物やその加工品の購入から消費拡大に向けた取組などについて、お伺いさせていただきました。

市内農林水産業に関するイベントへの参加については、「地域農業まつり」が22.7%、「鹿児島市農林水産まつり」が19.7%と約2割の方々に参加いただいている一方で、56.7%の方が「参加したことがない」と回答されており、理由として「イベント自体を知らなかった」が67.0%と最も高い結果でした。

観光を目的とした農林水産業が営まれる自然豊かな地域への訪問については、年に1回以上訪れると回答された方が58.7%で、訪れた先に期待することは、「自然と触れ合えること」が68.1%、次いで「おいしいものを食べられること」が66.4%でした。

観光で訪れた先で、農林水産物やその加工品を購入する場合に、日常で購入するものより倍近く価格が高くても購入したいと思う商品としては、「特産品等として良く知られているもの」が47.8%と最も高く、次いで、「作りたて・収穫したてのもの」が43.8%でした。

市内産農林水産物やその加工品の消費拡大のために取り組めばよいと思うことについては、テレビやSNS、イベント等の活用による周知や啓発に関する意見が最も多く、PRが不足しているとのご意見も多数いただきました。

今回のアンケート結果より、農林水産業が営まれる自然豊かな地域へ訪れ、自然との触れ合いや新鮮で高品質な農林水産物等の購入を行いたい方が一定数いらっしゃるということが伺えました。

また、消費拡大を図る為に、SNSなど様々な媒体やイベント等を活用し、農林水産物等の魅力に関して、より一層の情報発信に努める必要があることが分かりました。

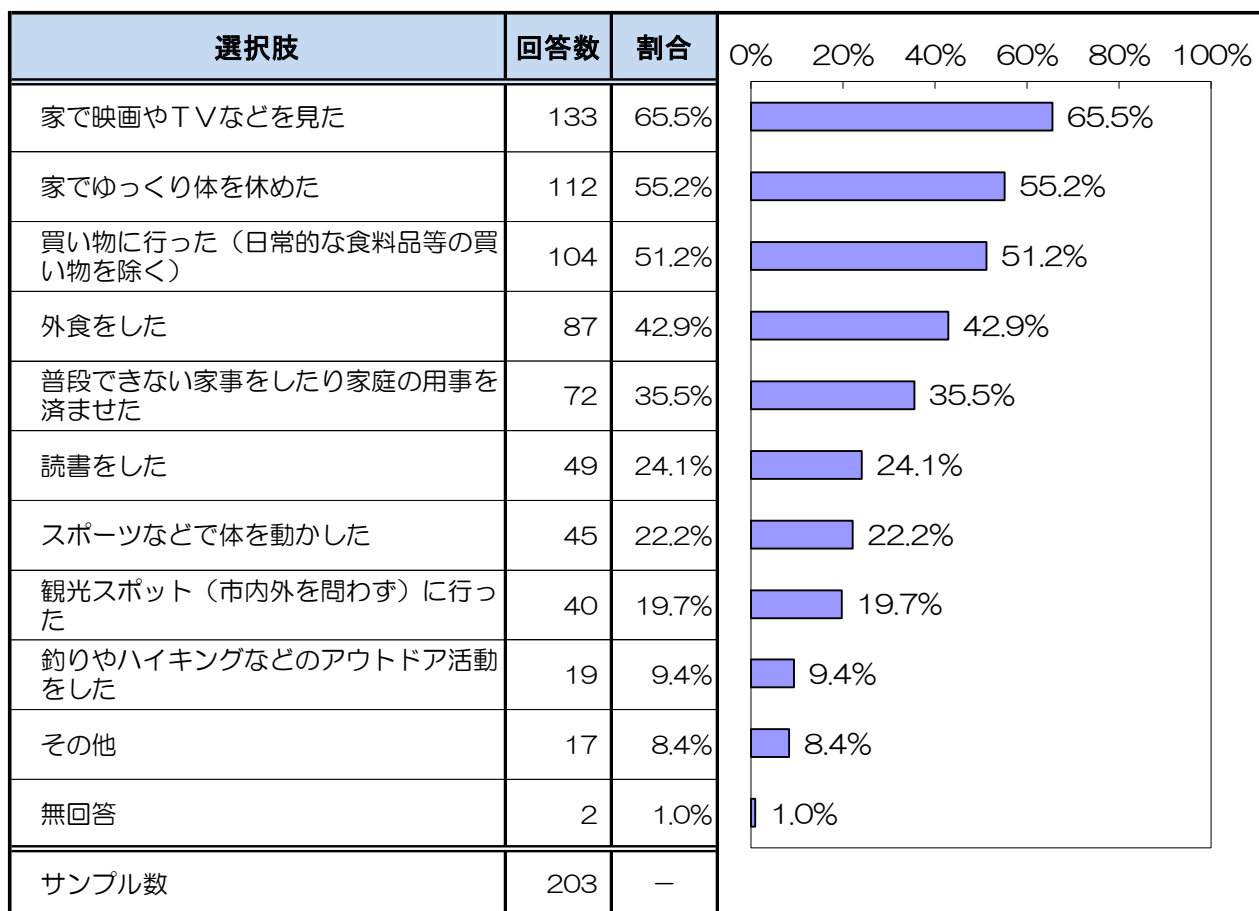
今回いただいた貴重なご意見を踏まえ、令和4年度からの第3期鹿児島市農林水産業振興プランに基づき、市内産農林水産物等の消費拡大や付加価値の向上に向けた具体的な取組について検討を行ってまいります。



### 3. 調査結果

#### 問1 あなたはこの1カ月間休日に何をしておりましたか。(複数回答)

「家で映画やTVなどを見た」が65.5%と最も高く、次いで、「家でゆっくり体を休めた」の55.2%、「買い物に行った（日常的な食料品等の買い物を除く）」の51.2%の順となっています。

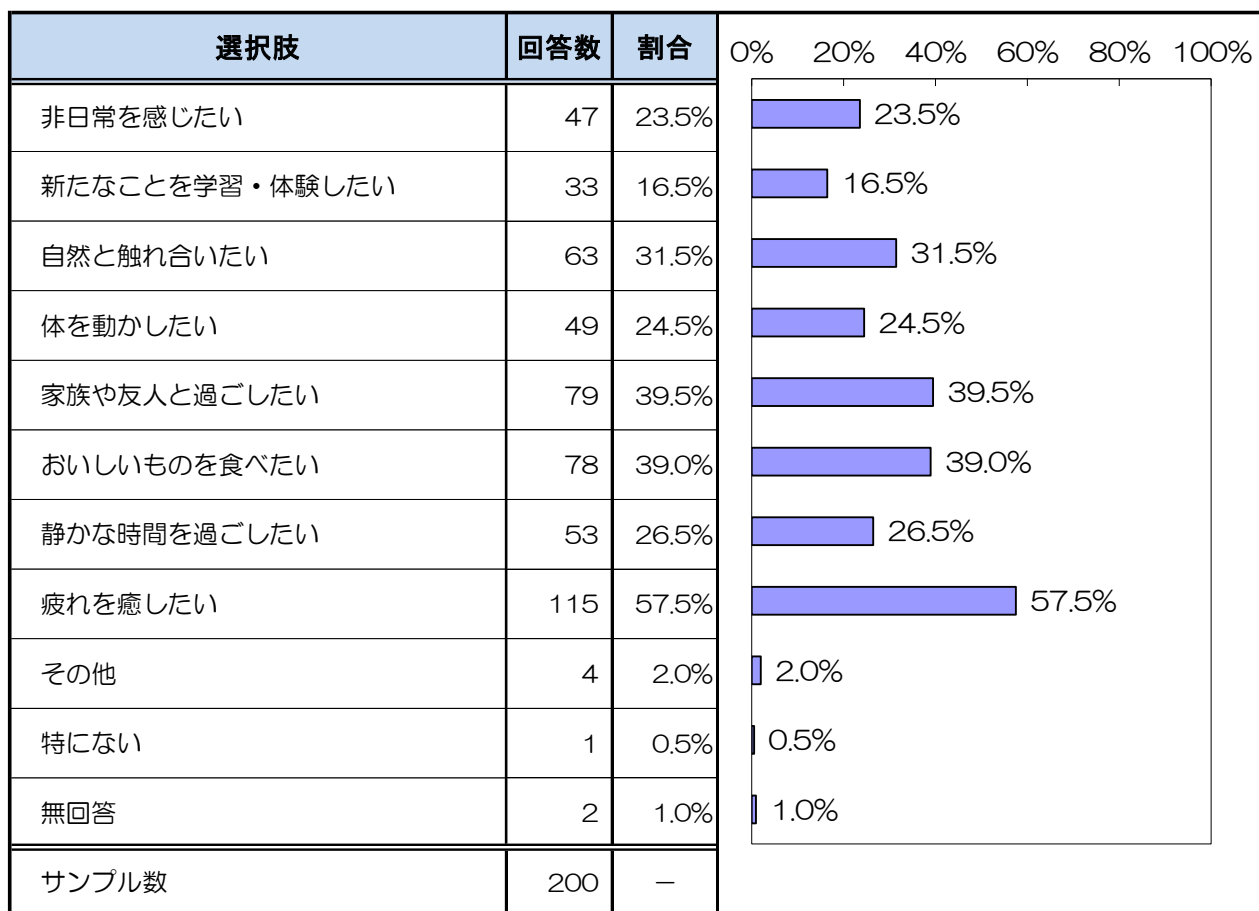


#### ◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・コロナ対策で外出を控えているので自宅の庭の木の手入れ
- ・竹山の手入れ
- ・自分が感染者にならないように極力出かけません。近所のスーパーにしか行かなかったです

## 問2 あなたは休日に特にどのようなことをしたいですか。(3つまで)

「疲れを癒したい」が57.5%と最も高く、次いで、「家族や友人と過ごしたい」の39.5%、「おいしいものを食べたい」の39.0%の順となっています。

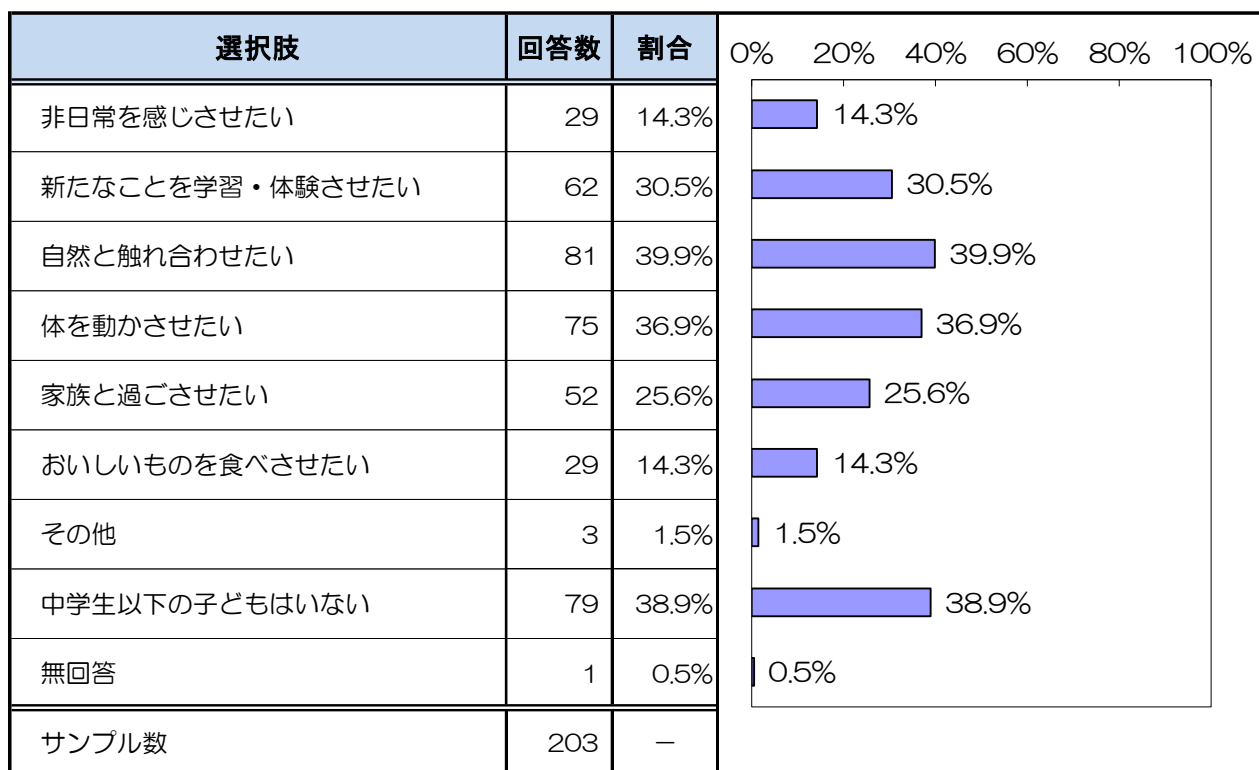


### ◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・いろいろな所へ行きたいものだ。
- ・片付け掃除

問3 あなたは自分のお子さん又はお孫さん（ここでは中学生以下のお子さんを指します）に、休日に特にどのようなことをさせたいと思いますか。（3つまで）

「自然と触れ合わせたい」が 39.9%と最も高く、次いで、「体を動かさせたい」の 36.9%、「新たなことを学習・体験させたい」の 30.5%の順となっています。

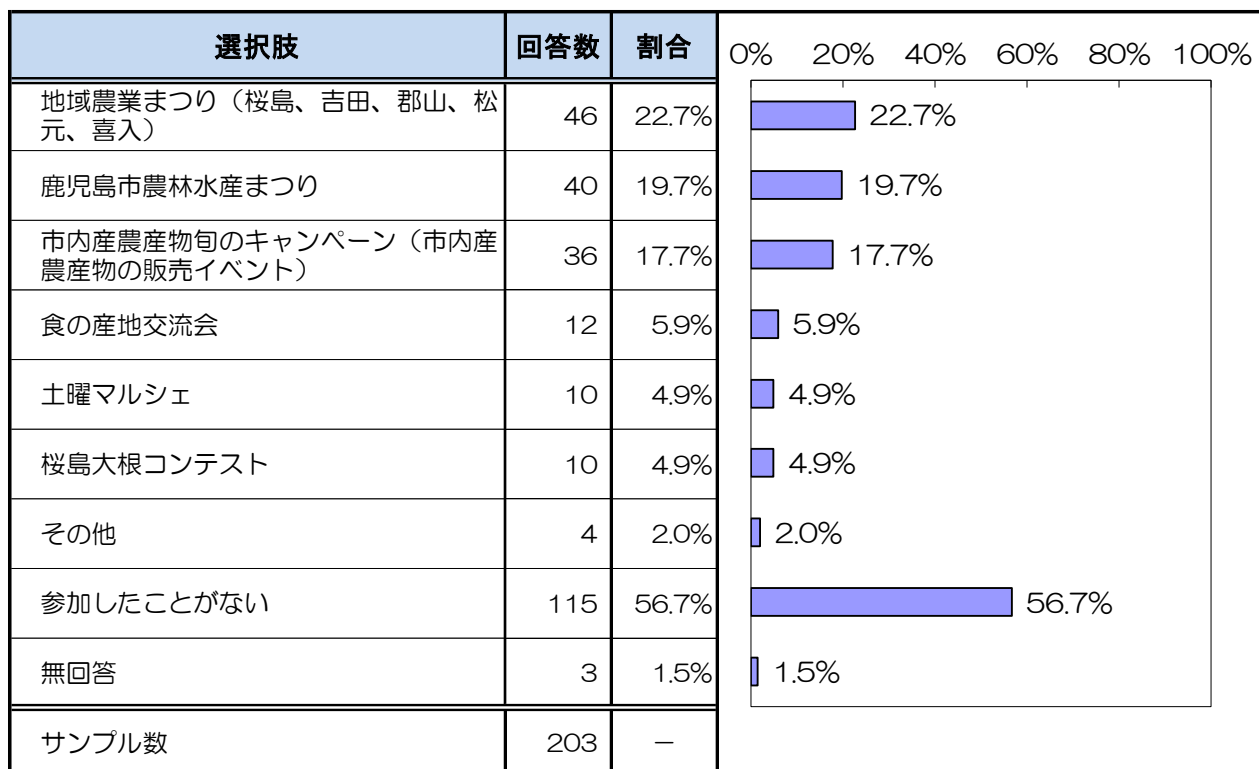


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・近くにいない。
- ・普段は相手をしてあげられないので、遊んだりしている。

問4 あなたは、鹿児島市内の農林水産業に関するイベントで参加したことがあるものがありますか。(複数回答)

「地域農業まつり（桜島、吉田、郡山、松元、喜入）」が 22.7%と最も高く、次いで、「鹿児島市農林水産まつり」の 19.7%、「市内産農産物旬のキャンペーン（市内産農産物の販売イベント）」の 17.7%の順となっています。

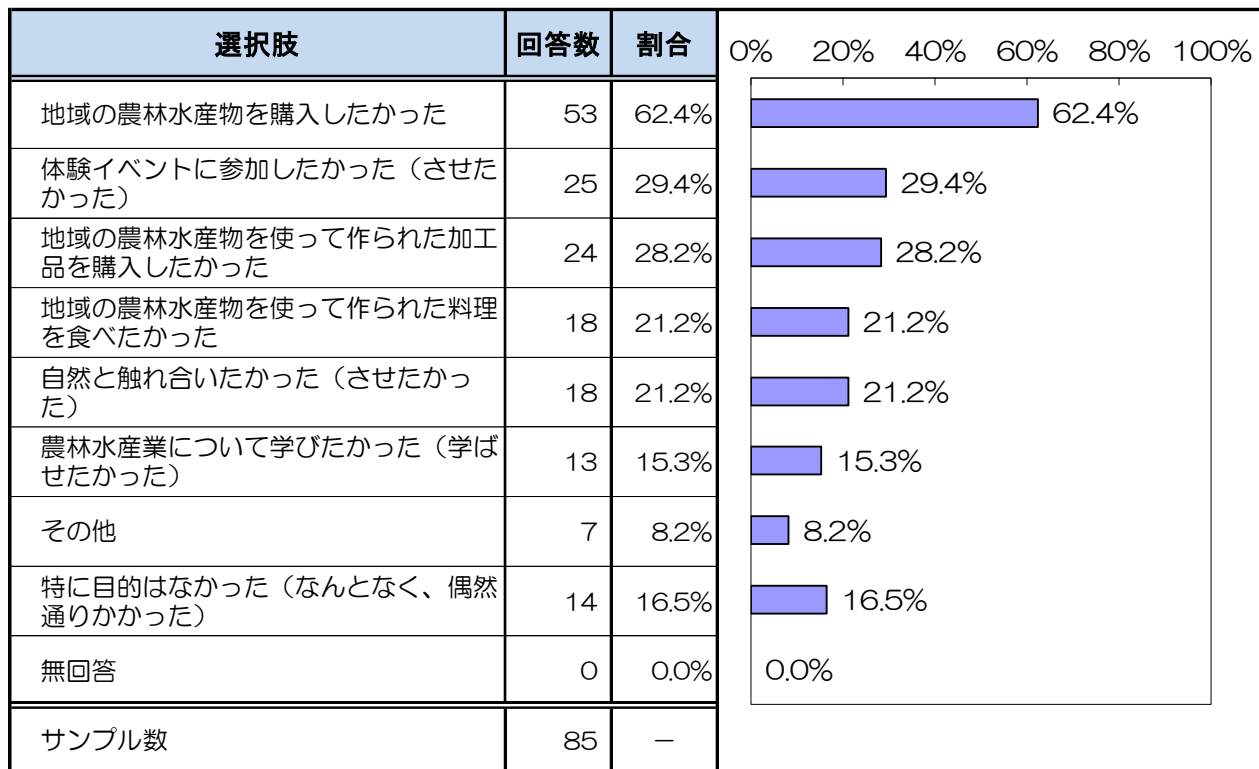


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・鹿児島中央駅前広場での市内農産品販売等
- ・なの花のオーナー制、料理紹介等

問5 問4で「参加したことがある（1～7を選択）」とお答えした方にお伺いします。イベントへ参加した目的は何ですか。（複数回答）

「地域の農林水産物を購入したかった」が62.4%と最も高く、次いで、「体験イベントに参加したかった（させたかった）」の29.4%、「地域の農林水産物を使って作られた加工品を購入したかった」の28.2%の順となっています。



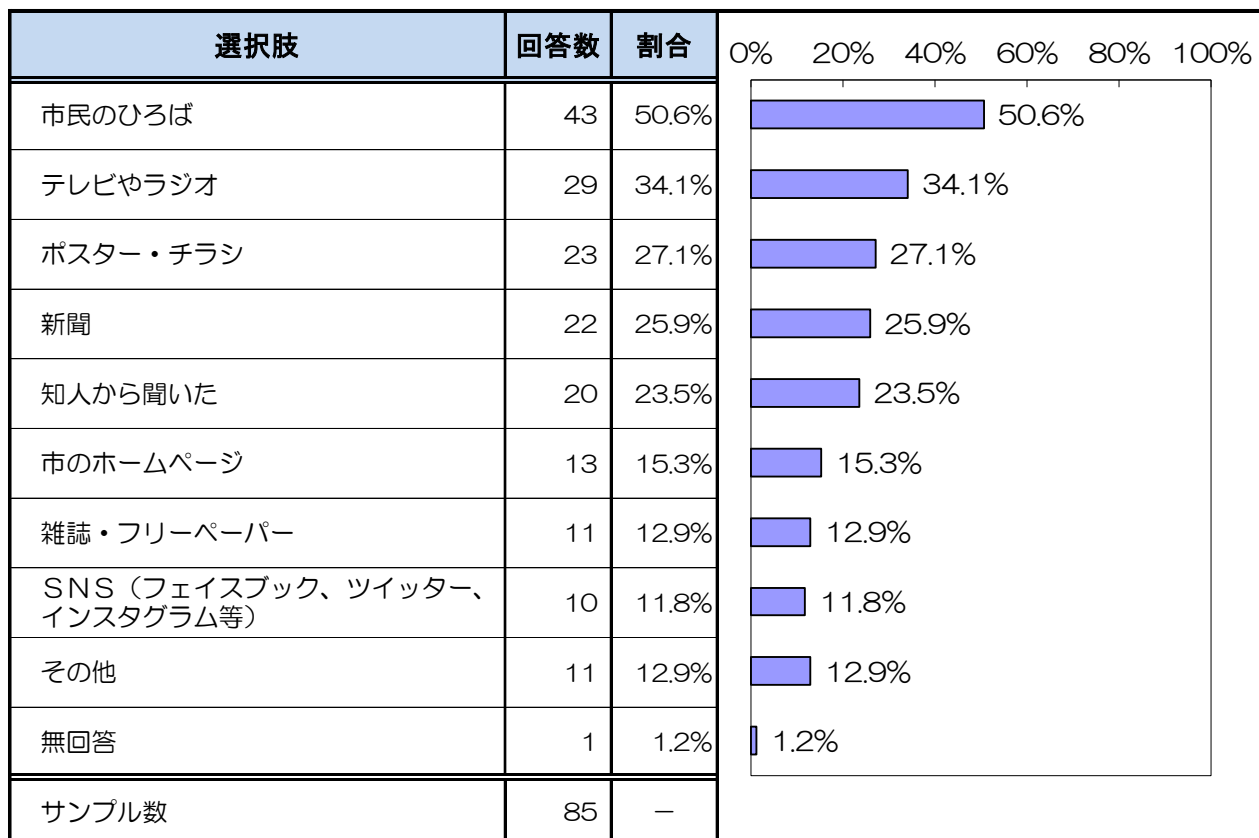
◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・小学校の頃に参加した。
- ・親の付き添いで行きました。

問6 問4で「参加したことがある（1～7を選択）」とお答えした方にお伺いします。参加したイベントの情報をどこで入手しましたか。

（複数回答）

「市民のひろば」が50.6%と最も高く、次いで、「テレビやラジオ」の34.1%、「ポスター・チラシ」の27.1%の順となっています。

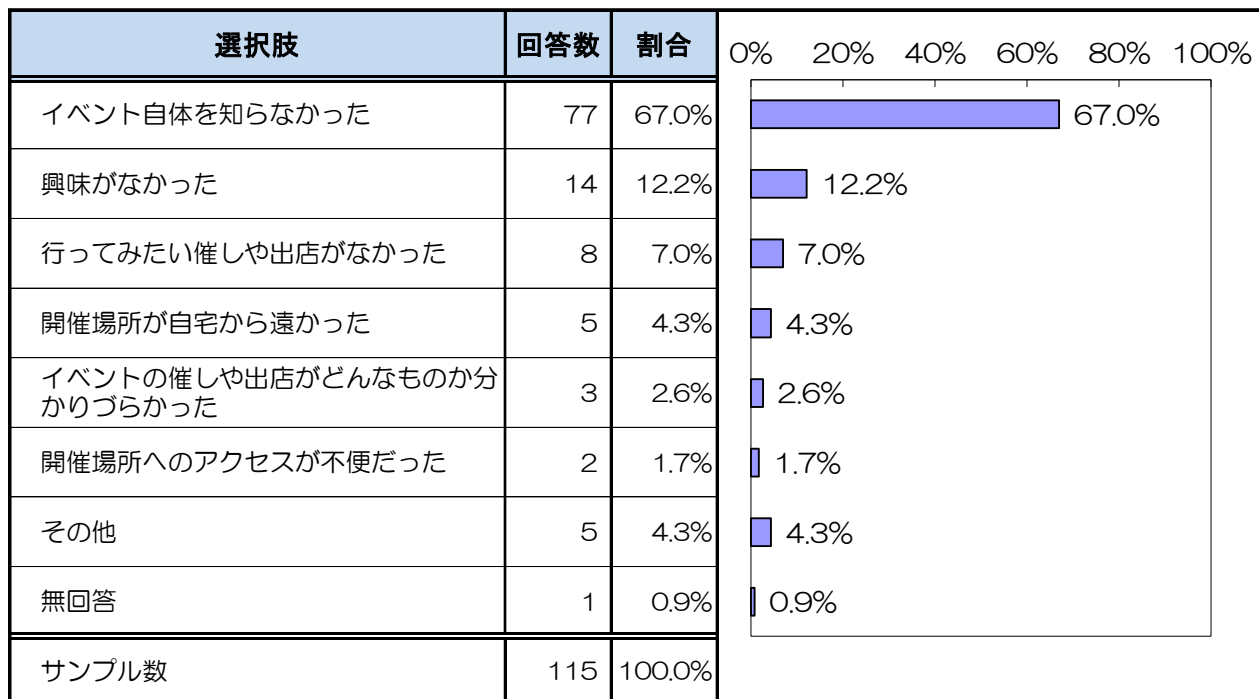


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・学校からのお知らせ
- ・職場
- ・通りがかり。

問7 問4で「参加したことがない（8を選択）」とお答えした方にお伺いします。その主な理由は何ですか。（単数回答）

「イベント自体を知らなかった」が67.0%と最も高く、次いで、「興味がなかった」の12.2%、「行ってみたい催しや出店がなかった」の7.0%の順となっています。

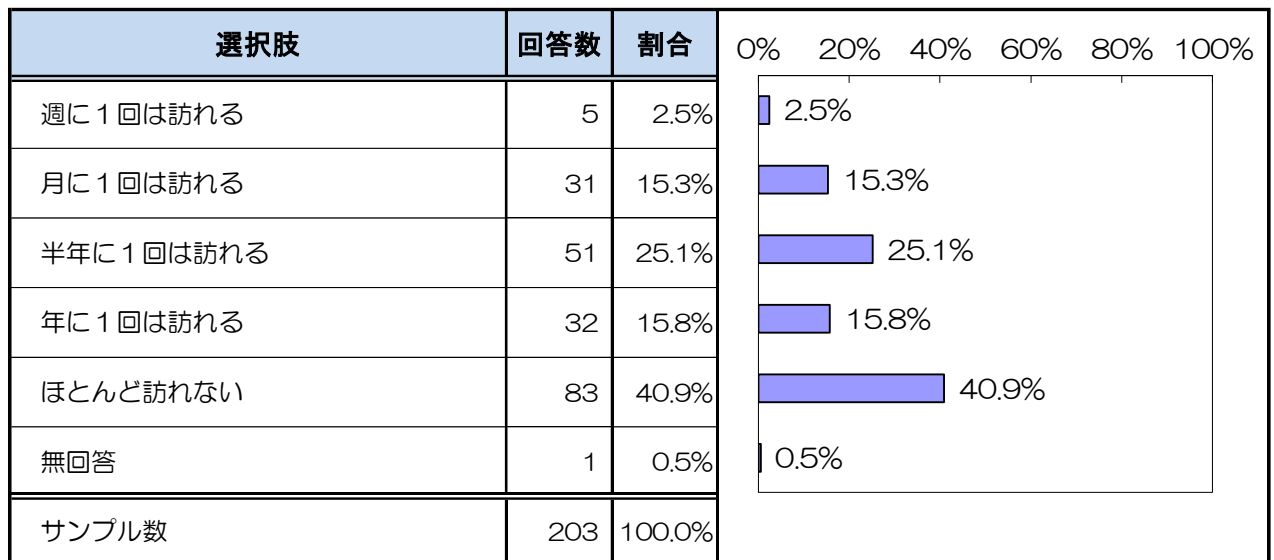


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・コロナ禍で外出をひかえた。

問8 あなたは、1年間のうち、休日に観光（日帰り含む）を目的として、鹿児島市内外を問わず、農林水産業が営まれている自然豊かな地域（居住している地域を除く）をどの程度訪れますか。（単数回答）

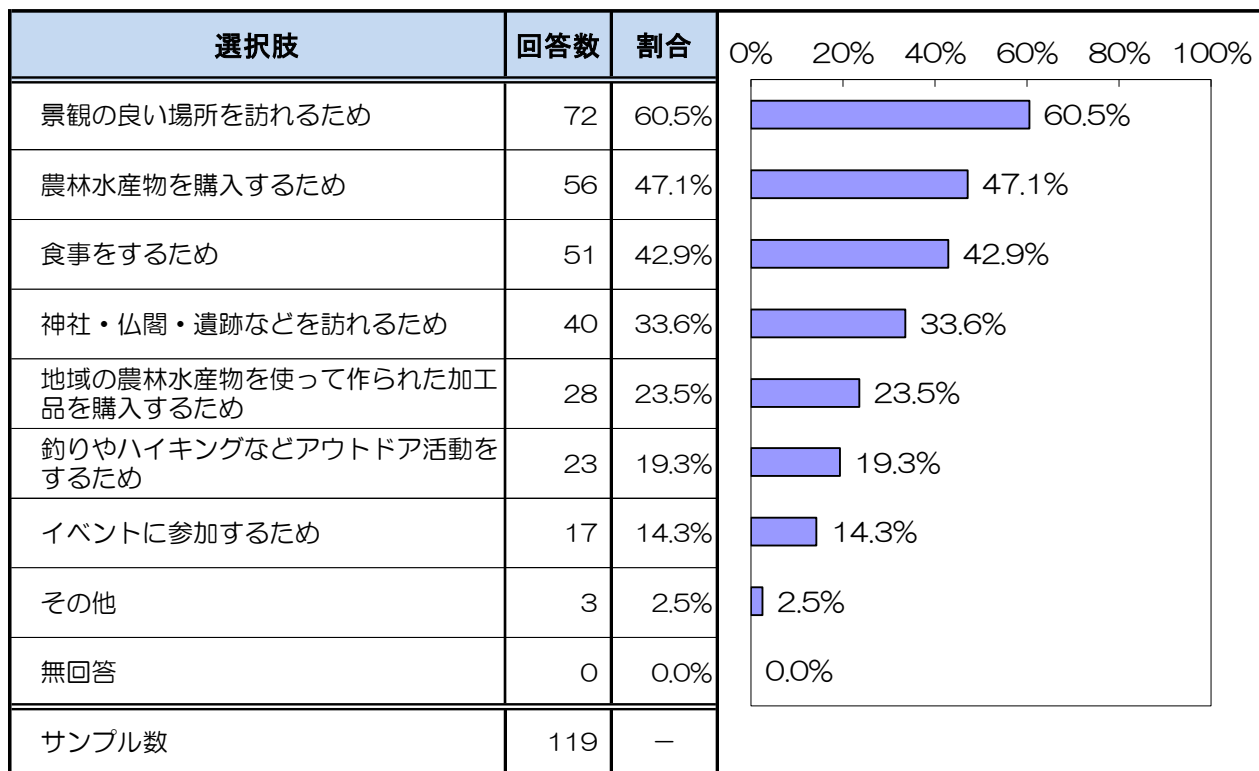
「ほとんど訪れない」が40.9%と最も高く、次いで、「半年に1回は訪れる」の25.1%、「年に1回は訪れる」の15.8%の順となっています。





問9 問8で「訪れる（1～4を選択）」とお答えした方にお伺いします。訪れる主な目的は何ですか。（複数回答）

「景観の良い場所を訪れるため」が60.5%と最も高く、次いで、「農林水産物を購入するため」の47.1%、「食事をするため」の42.9%の順となっています。

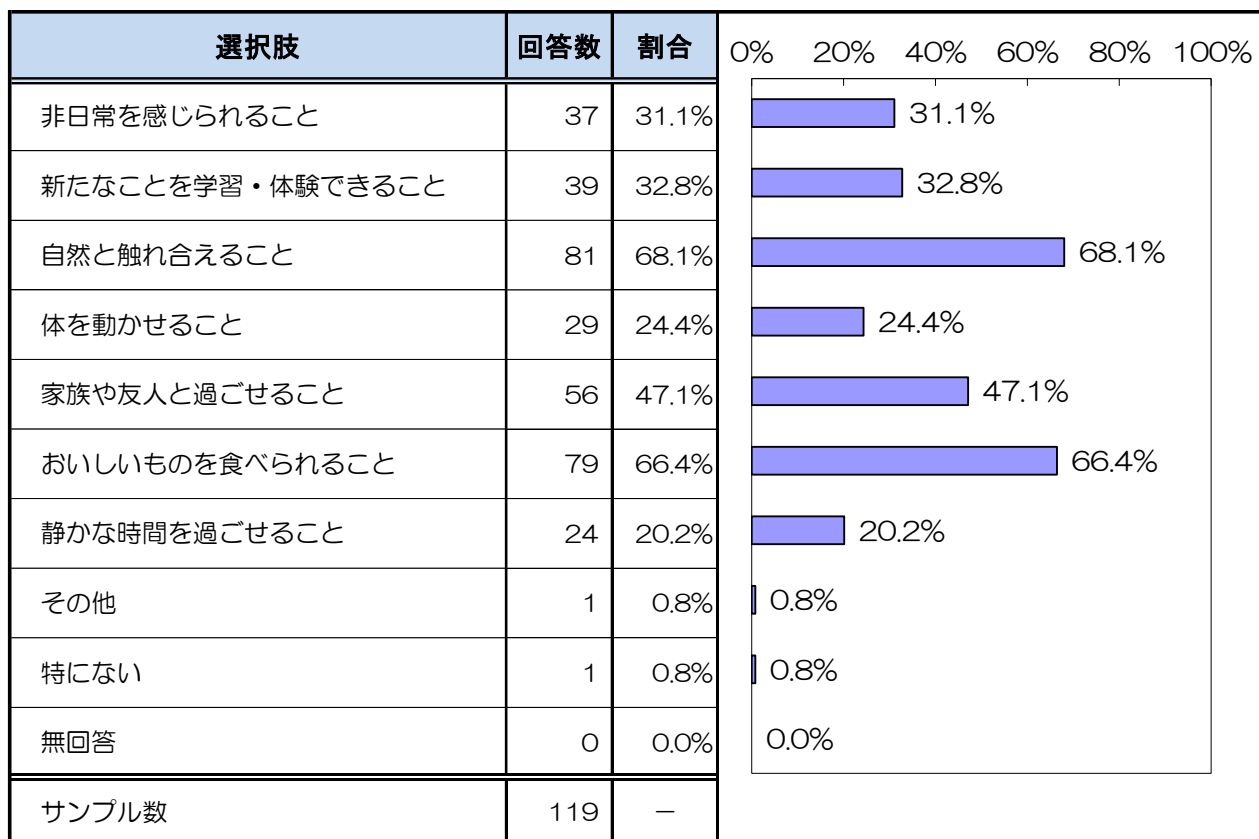


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・湧水を汲むため

問 10 問8で「訪れる（1～4を選択）」とお答えした方にお伺いします。訪れた先では、どんなことを期待しますか。（複数回答）

「自然と触れ合えること」が68.1%と最も高く、次いで、「おいしいものを食べられること」の66.4%、「家族や友人と過ごせること」の47.1%の順となっています。

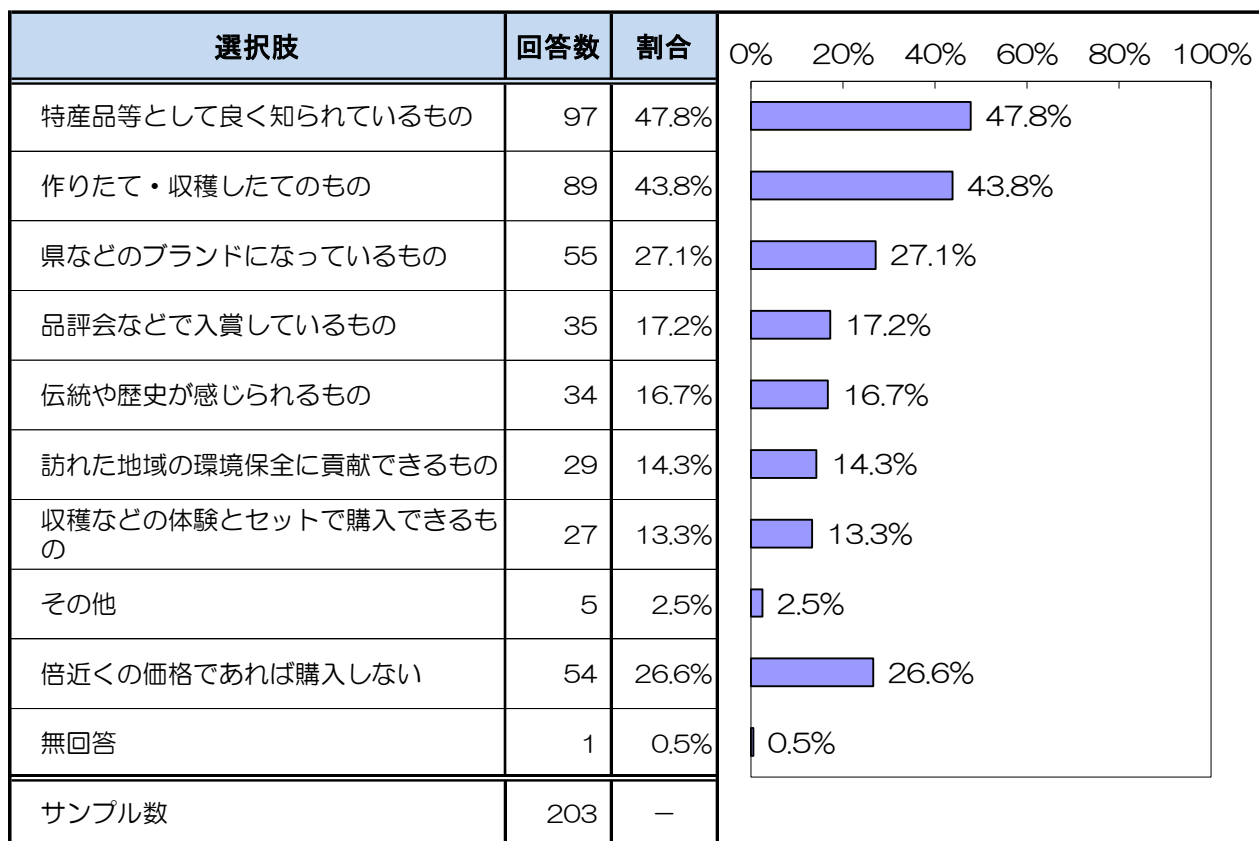


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・新しい空気を吸ったり、気分転換等を味わいたい。

問 11 観光で訪れた先で、農林水産物やその加工品を購入する場合に、日常で購入するものより倍近く価格が高くて購入したいと思うのはどういう商品ですか。(複数回答)

「特産品等として良く知られているもの」が47.8%と最も高く、次いで、「作りたて・収穫したてのもの」の43.8%、「県などのブランドになっているもの」の27.1%の順となっています。



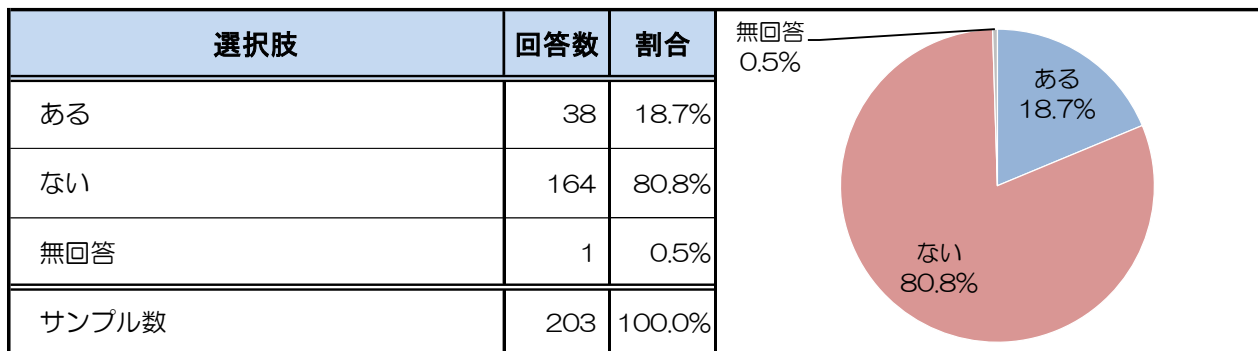
◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・希少価値のあるものや、懐かしいもの
- ・自分がほしいものなら購入
- ・高くても、美味しい食べ物ならば買います。

問 12 過去に、観光で訪れた先で購入した農林水産物や加工品を、通信販売などで後日取り寄せて、再び購入したことがありますか。

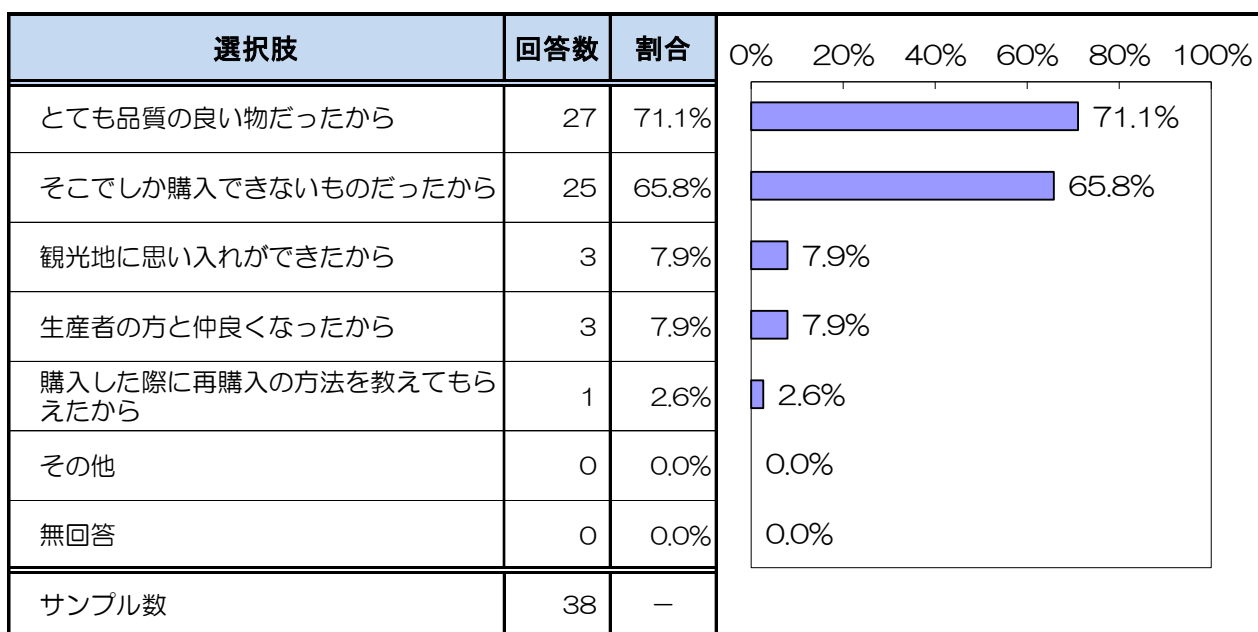
(単数回答)

「ある」が18.7%、「ない」が80.8%となっています。



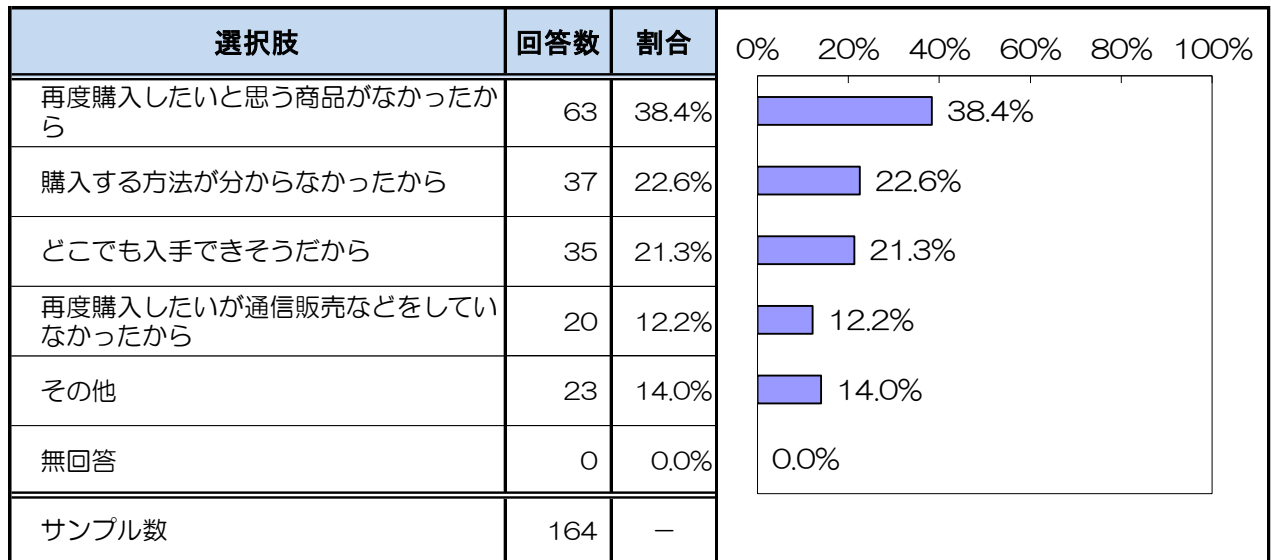
問 13 問12で「1. ある」とお答えした方にお伺いします。再び購入した理由は何ですか。(複数回答)

「とても品質の良い物だったから」が71.1%と最も高く、次いで、「そこでしか購入できないものだったから」の65.8%となっています。



問 14 問12で「2. ない」とお答えした方にお伺いします。購入しない理由は何ですか。(複数回答)

「再度購入したいと思う商品がなかったから」が38.4%と最も高く、次いで、「購入する方法が分からなかったから」の22.6%、「どこでも入手できそうだから」の21.3%の順となっています。



◆その他の回答 (一部抜粋・原文まま)

- ・訪れた先で購入したい。通信販売は気分的に何か違う感じがする。
- ・再度訪れたいと思ったため
- ・特に取り寄せてまた買おうとまで思わなかったから

問 15 あなたが市外の知人などに勧めたい、鹿児島市内産の農林水産物やその加工品があれば教えてください。(3つまで)

市外の知人などに勧めたい鹿児島市内産の農林水産物や加工品		件数
・桜島大根(加工品含む)		29件
・魚(鰹、かんぱち、きびなご他 加工品含む)		26件
・豚肉(黒豚他 加工品含む)		25件
・つけあげ(さつま揚げ)		20件
・果物(桜島小みかん以外の柑橘類、ピワ等)		18件
・お茶		15件
・桜島小みかん(加工品含む)		14件
・野菜(さつまいも以外の葉物類・豆類等)		13件
・郷土菓子(かるかん、あくまき、両棒餅等)		10件
・さつまいも		9件
・牛肉(黒毛和牛他 加工品含む)		7件
・鶏肉(加工品含む)		7件
・焼酎		7件
・調味料(醤油、味噌等)		7件
・漬物		4件
・たけのこ		2件
・海藻(昆布、アオサノリ)		2件
その他(各1件)		
・ルパープのジャム	・喜入のとうもろこし	・黒砂糖
・おいどん市場の製品 (厨房で作る弁当類は 特に)	・国生屋のチーズかまぼこ	・米
・鹿児島ラーメン	・櫻島灰干しの干物	・ところてん
	・生食のさとうきび	・竹細工
	・熊襲亭の酒ずし	・椿油

※特になし、思いつかない、わからない等 26件

問 16 鹿児島市内産の農林水産物やその加工品の消費拡大のためにはどのようなことに取り組みばよいと思いますか。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
SNSなどで特産物の発信を積極的に行う。	女	30歳代	中央
時期により特産品が直売所などであるのだろうが、行ってみたいとよくわからない。時期によって、どんなものがどこで生産(地区ごとがいい)されて、どこで(場所、通販)買えるのか、市のPRコーナー、広報誌、ホームページ、マスコミ媒体などで積極的に広報してください。	男	60歳代	谷山
農林水産物をつかった料理などをSNSなどを通じてアピールすると思います。	女	29歳以下	吉野
イベントなどの時、サンプルや、試食などしたらしいと、思う。	女	50歳代	喜入
県外で物産展を行う。	女	50歳代	伊敷
直売所・量販店でのイベント	男	40歳代	中央
PRをする機会を増やす。	女	29歳以下	谷山
よく現状わかってないが、鹿児島はPR下手ではないのか。また、加工品を作るのも下手なのか知らないのかこれといったものが鹿児島に住んでも分からない。	男	40歳代	伊敷
国内の販路拡大や海外への輸出も必要ですが、一方で県内の若い世代の魚離れやお茶離れが深刻ではないかと思います。すぐに名案は思い付きませんが、次世代が鹿児島の食材の良さを知ることがまず必要だと感じています。	男	60歳代	中央
スーパーなどで定期的に試食をして、PRすることも消費拡大につながると思う。	男	70歳以上	伊敷
パッケージにわかりやすく鹿児島産って入れたらいいと思う。	女	30歳代	喜入
おすすめで簡単な調理法などを商品に表示して欲しい。アプリなどで。	女	40歳代	谷山
加工品のアレンジなどの展開	男	30歳代	中央
価格と調理法の明瞭化を図る。(価格については、原価「生産者・加工価・商品価」の細分にトータル価格を考えて検討すべきではないかと思えます。一番の心配は生産者への配分が少ないのではと心配です。)	男	70歳以上	谷山
手頃な値段でネット等で買えると嬉しいのかな？	男	50歳代	喜入
量や値段、お得感を出す。	女	30歳代	吉田
物産館などの特定の場所だけでなく、手軽に購入できるコンビニやスーパーに置いてみる。	女	30歳代	喜入
現在コロナ禍であり通販がとても人気であり家で解凍してご飯に乗せるだけの調理のいらぬ物が流行っていて巣籠もり需要で通販を利用して全国各地に広める。	男	29歳以下	谷山
学校給食・病院食・老人福祉施設の食事などに、積極的に地域の農産物を利用すること。	男	50歳代	吉野
ふるさと納税の品目を増やす。	男	60歳代	中央
子どもに関心を持たせる事で、周囲が動くと思われる。少子であるが故、当然のことで大きな発言権を持つのは子供であると思われる。	女	40歳代	松元

### Ⅲ 日本遺産「薩摩の武士が生きた町」について

#### 1. 調査の目的

令和元年5月に、「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群“麓”を歩く～」が日本遺産に認定されました。日本遺産「薩摩の武士が生きた町」を構成する“麓”として、本市には「鹿児島城」地区と「喜入旧麓」地区があります。

市民の皆さんに、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」を理解していただき、地域の活性化につなげていくため、その認知度を把握し、今後の事業推進の参考とするため、アンケートを実施させていただきます。

#### 2. 調査結果を受けて担当課（文化財課）からのコメント

「日本遺産」の認知度をみる設問において、「日本遺産」という言葉を、「聞いたことはあったが、内容についてはよく知らなかった」が30.0%、「聞いたことがなかった」が56.2%でした。二つを合わせると86.2%と、認知度の低さが浮き彫りとなりました。

また、「薩摩の武士が生きた町」について、「聞いたことがあった」と回答した25.6%の人が、どのような媒体から情報を得たのかという問いに対し、「テレビ」、「新聞」、「市の広報誌」が上位を占めています。

これに対し、「日頃、どのような媒体を使って情報を得ることが多いか」との問いでは、「テレビ」、「SNS」、「ホームページ」が上位を占めています。このことから、「SNS」や「ホームページ」における情報発信が、効果を期待できる手段であるということが分かりました。

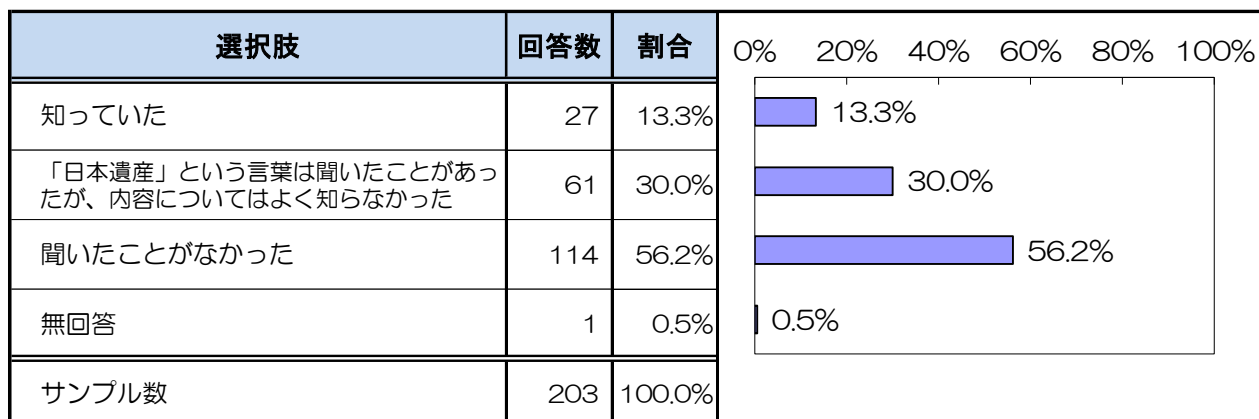
今回いただいたご回答を踏まえ、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」の周知・広報活動の強化を図りつつ、どのように活用を図っていくのか、検討してまいりたいと思います。



### 3. 調査結果

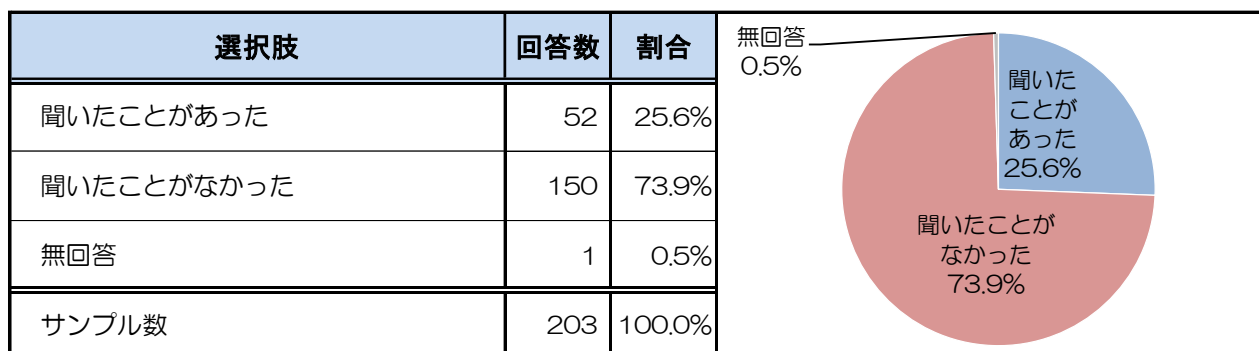
問 17 あなたは文化庁が地域の文化や伝統が語られているストーリーを「日本遺産」として認定していることを知っていましたか。(単一回答)

「知っていた」が 13.3%、「「日本遺産」という言葉は聞いたことがあったが、内容についてはよく知らなかった」が 30.0%、「聞いたことがなかった」が 56.2%となっています。



問 18 「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群“麓”を歩く～」というものを聞いたことがありましたか。(単一回答)

「聞いたことがあった」が 25.6%、「聞いたことがなかった」が 73.9%となっています。

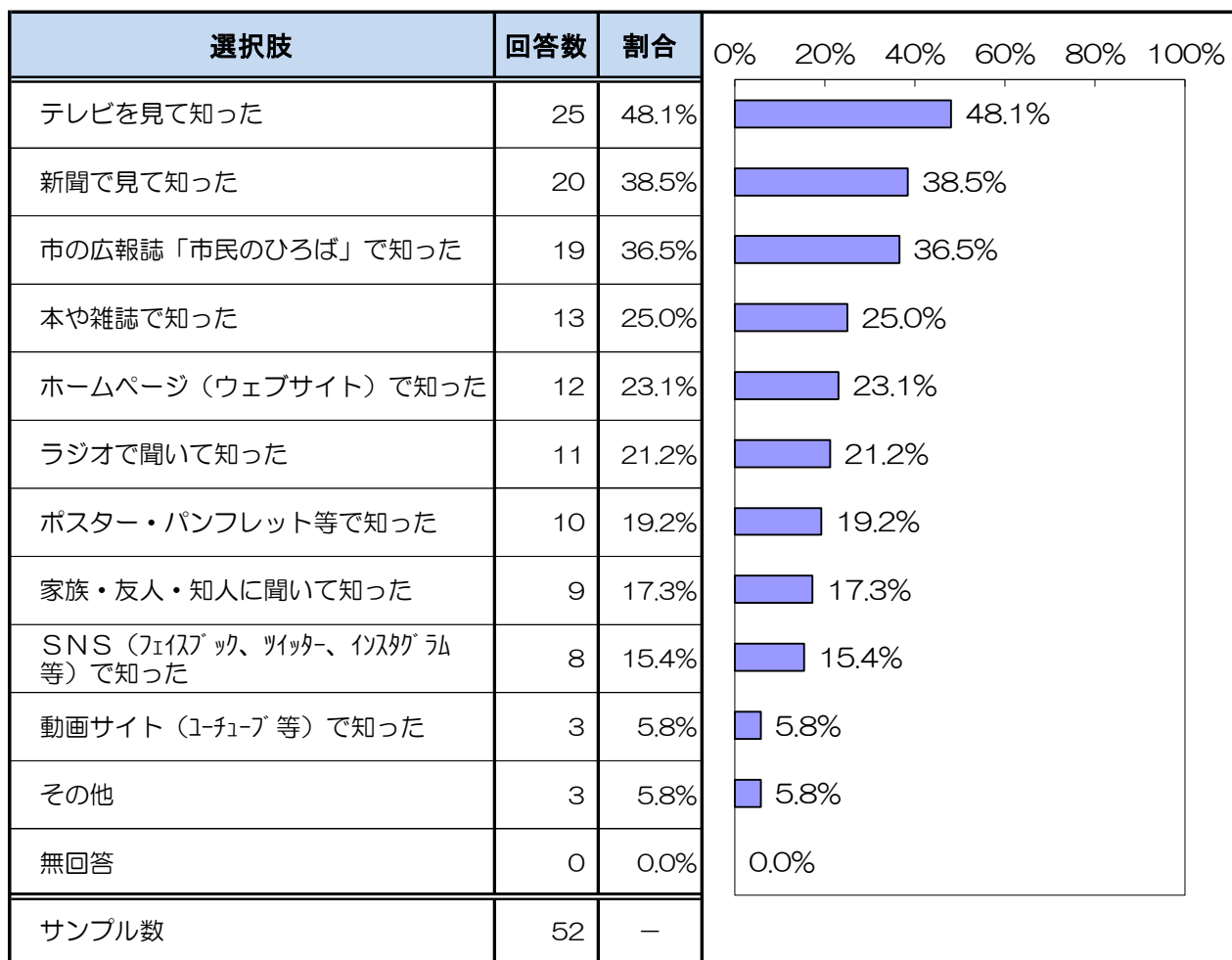


問 19 問 18 で「1. 聞いたことがあった」とお答えした方にお伺いします。

「薩摩の武士が生きた町」の情報をどのように知りましたか。

(複数回答)

「テレビを見て知った」が 48.1%と最も高く、次いで、「新聞で見て知った」の 38.5%、「市の広報誌「市民のひろば」で知った」の 36.5%の順となっています。



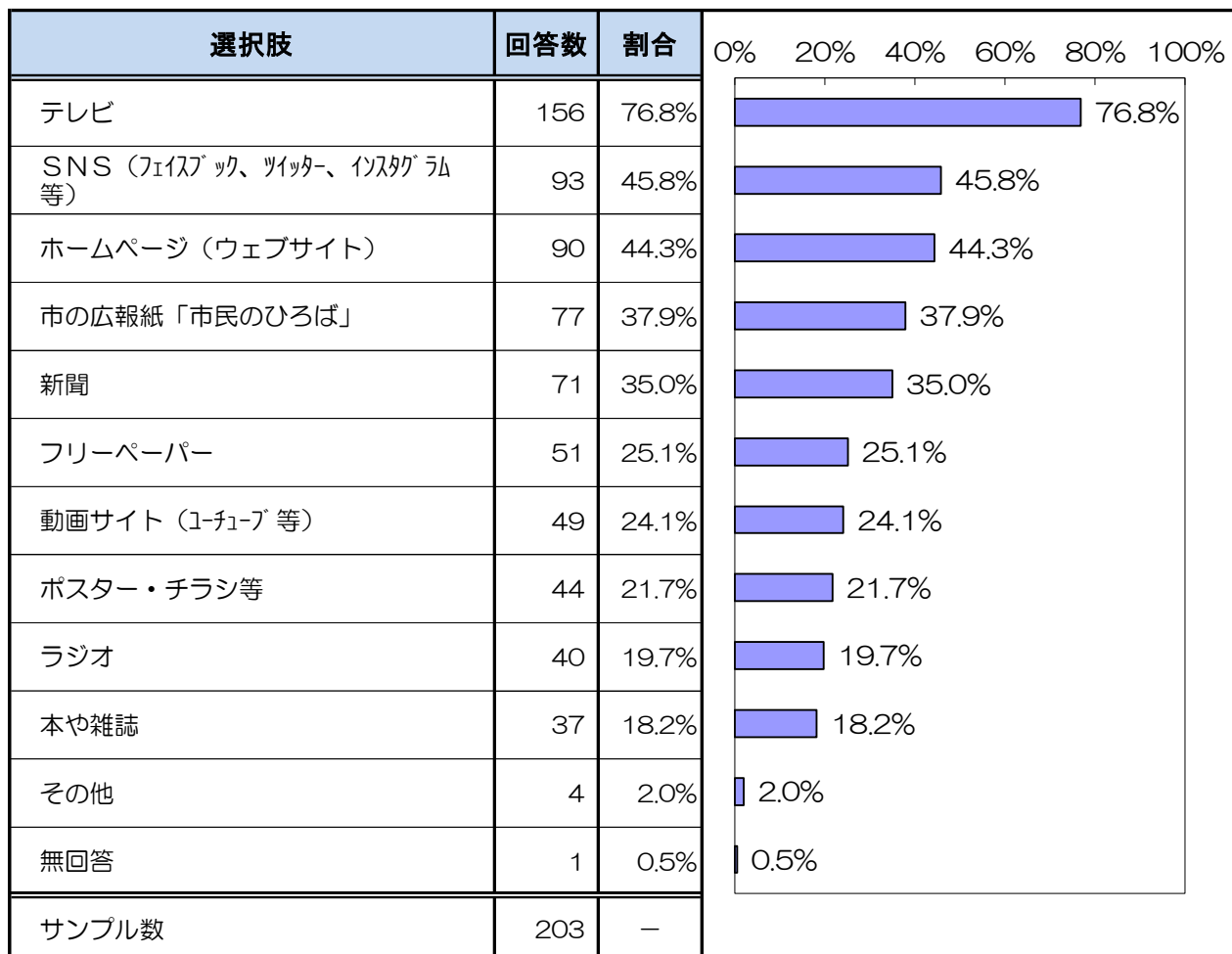
◆その他の回答（原文まま）

- ・先祖が谷山麓出身、川辺勝目出身でふもとの話はよく聞いていた。
- ・多分、広報誌と思います。あるいは市電内広告（市電よく利用）
- ・志布志麓など、現地を訪ねたときに、日本遺産指定を知りました。麓については、鹿児島大学工学部の鯨坂研究室の「麓まちあるきマップ」によって宮崎県を含めて数多くの麓があることを知りました。

問 20 日頃、どのような媒体を使って情報を得ることが多いですか。

(複数回答)

「テレビ」が76.8%と最も高く、次いで、「SNS (フェイスブック、ツイッター、インスタグラム等)」の45.8%、「ホームページ (ウェブサイト)」の44.3%の順となっています。

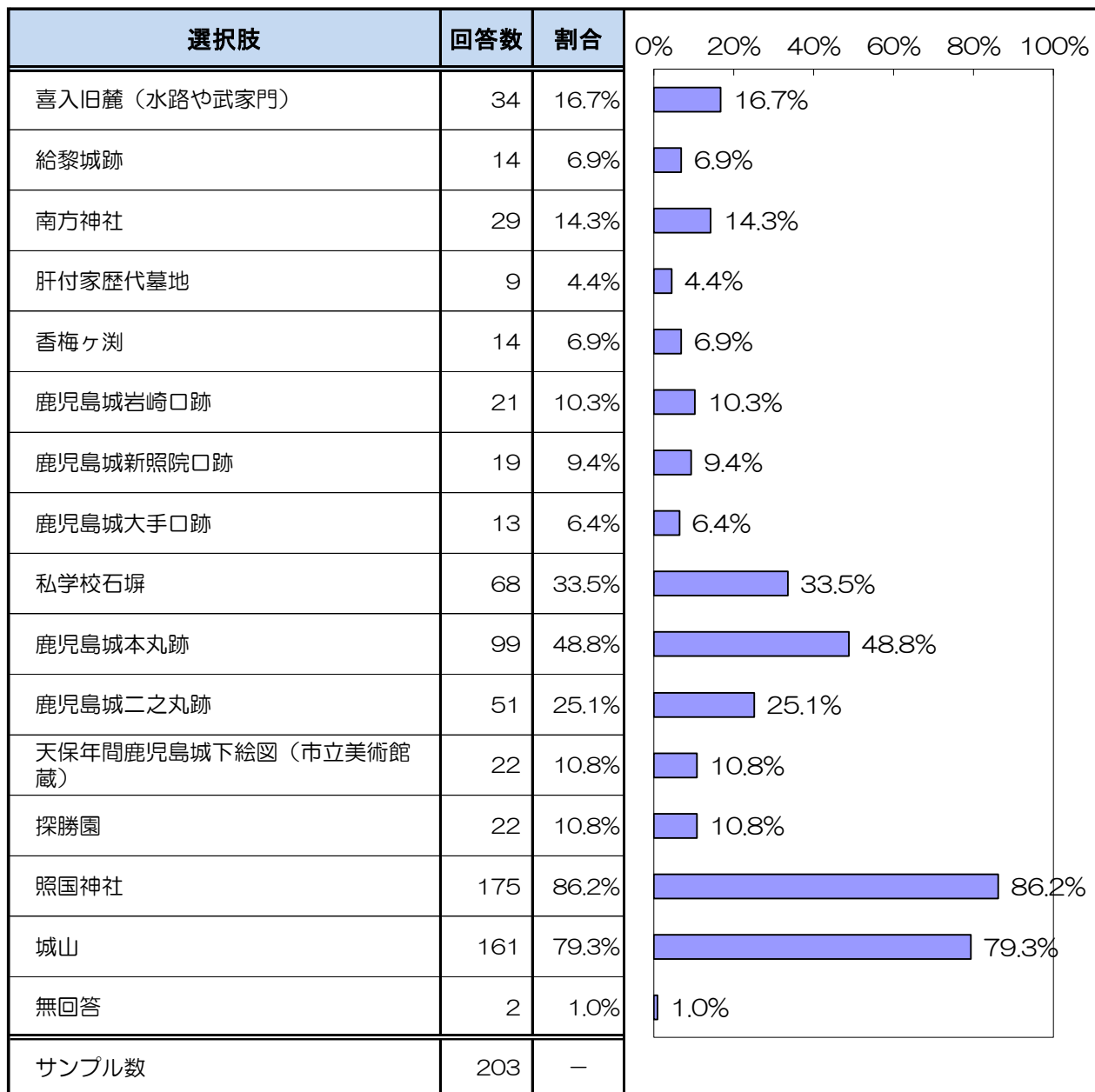


◆その他の回答 (原文まま)

- ・LINE ニュースや、両親から
- ・市電内掲示
- ・図書館
- ・観光案内受付

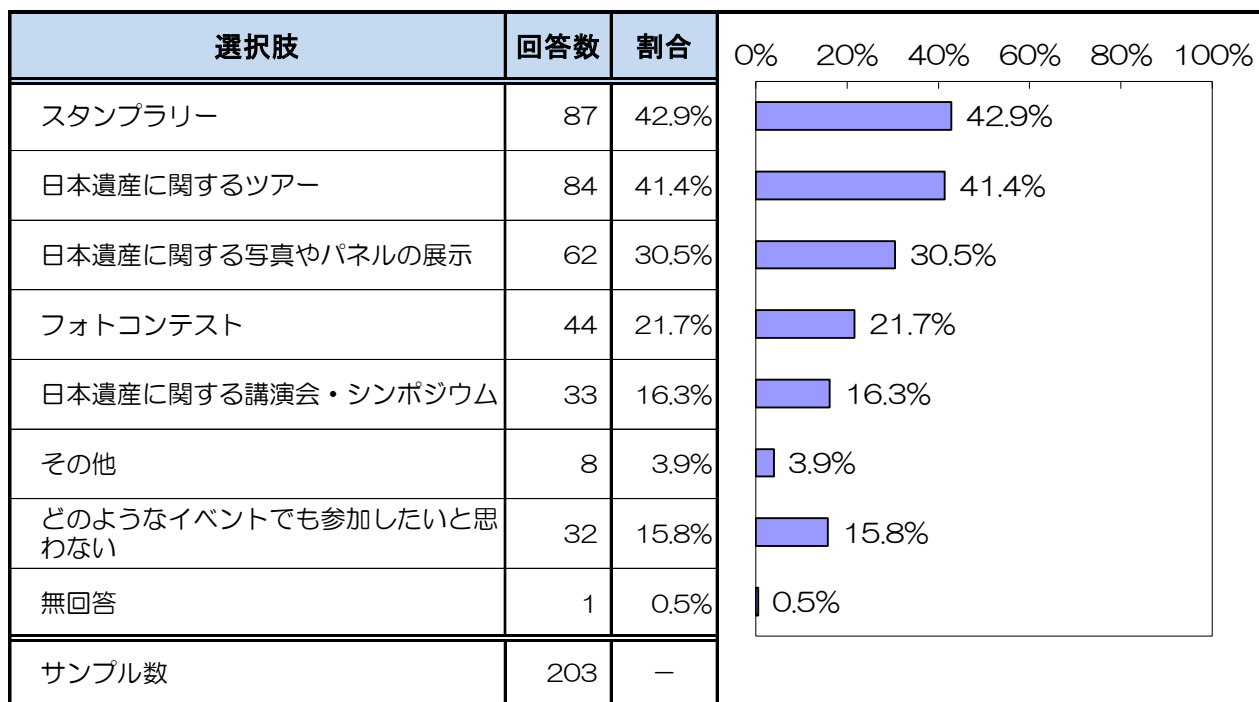
問 21 日本遺産の構成文化財の中で、知っているものをお選びください。  
(複数回答)

「照国神社」が 86.2%と最も高く、次いで、「城山」の 79.3%、「鹿児島城本丸跡」の 48.8%の順となっています。



問 22 現在、日本遺産（「薩摩の武士が生きた町」）を周知するために、各種イベントを行っていますが、今後どのようなイベントであれば参加したいと思いますか。（複数回答）

「スタンプラリー」が 42.9%と最も高く、次いで、「日本遺産に関するツアー」の 41.4%、「日本遺産に関する写真やパネルの展示」の 30.5%の順となっています。

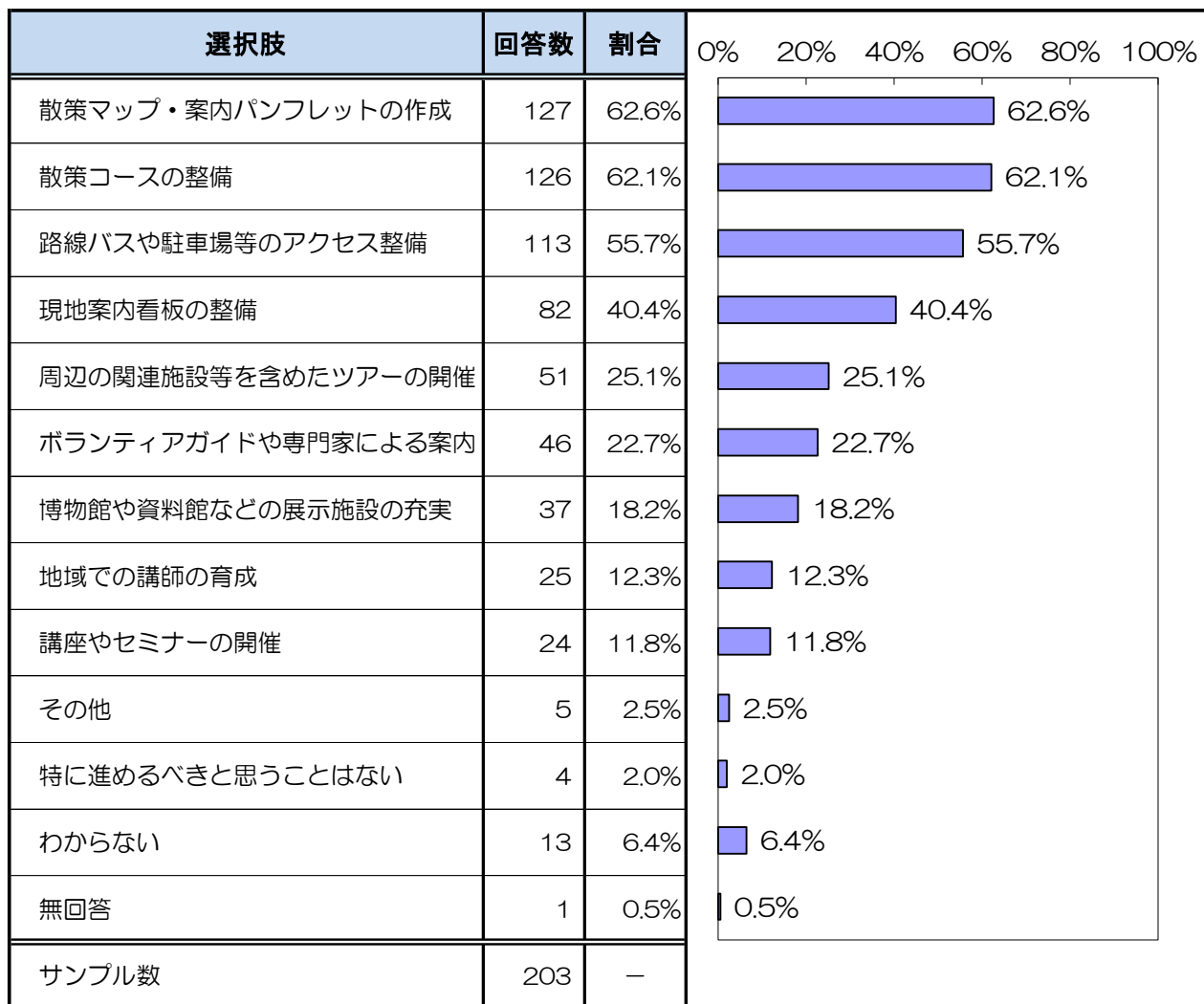


◆その他の回答（原文まま）

- ・ イベントと同時に農産物等販売等もよいのではないのでしょうか。
- ・ 折あれば「日本遺産に関する講演会・シンポジウム」を、テレビで複数回放送してください。見逃したかもしれません。
- ・ カフェや食べ物などのイベントとともに、ツアーやら写真の展示会が開催されれば、その場に行き、そこで知る機会になると思う。
- ・ 各種イベントに参加する時間がありません。
- ・ テレビ、新聞インターネットを使ったPR
- ・ どんかごなどのテレビで取り上げる。
- ・ パネル展示等はたまたま行った場所にあれば読むこともありますが、わざわざ行きたい気持ちになれない。薩摩の武士であれば、小説やまんが等いろいろな作品に登場していると思うので、そういった媒体とのコラボの方が興味を持たれやすいのではないのでしょうか。
- ・ フェスティバルを行う。食事、体験、音楽レキシが同じ場所で開催される。

問 23 鹿児島市の日本遺産を活用していくためには、どのようなことを進めればよいと思いますか。(複数回答)

「散策マップ・案内パンフレットの作成」が 62.6%と最も高く、次いで、「散策コースの整備」の 62.1%、「路線バスや駐車場等のアクセス整備」の 55.7%の順となっています。

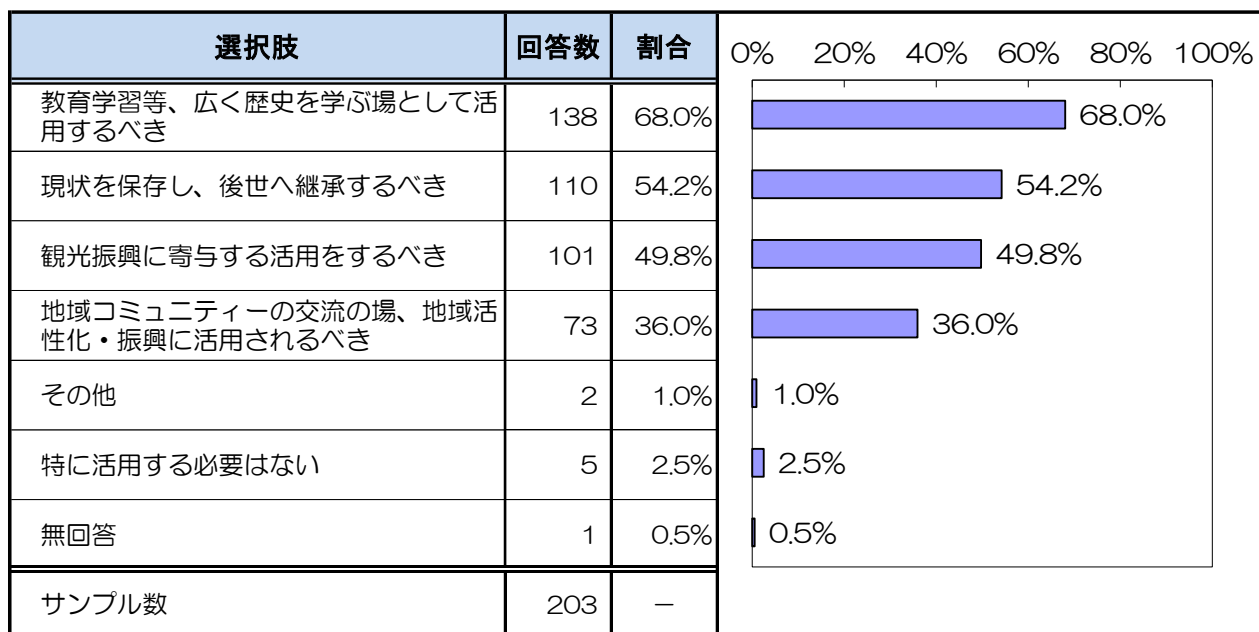


◆その他の回答 (原文まま)

- ・鹿児島市の日本遺産の宣伝。私は鹿児島市に移住して間もなく3年半になるが、鹿児島市内の歴史的建造物や日本遺産は殆ど知らない。休日に外出となると、仕事疲れで二の足を踏んでしまう上に、まだ鹿児島市の事がよく分からないため、結局その日の外出は先送りになるのだ。そのため、まずは私のような鹿児島市をよく知らない人間をターゲットにし、TV や YouTube、Twitter で鹿児島市の日本遺産の宣伝に力を入れるべきだ。もしも宣伝の中で気になる目的地が見つかれば、きっと外に出てその場所へ行くに違いないからだ。
- ・日本遺産の意味がわからない。
- ・パンフレットでなくホームページやインスタでの発信。宿泊、美味しい食事やカフェと結びつける。
- ・季節の花で人を集める。
- ・江の島鎌倉みたいになったらいいな。

問 24 鹿児島市の日本遺産を今後どのように活用すべきだと思いますか。  
(複数回答)

「教育学習等、広く歴史を学ぶ場として活用すべき」が68.0%と最も高く、次いで、「現状を保存し、後世へ継承するべき」の54.2%、「観光振興に寄与する活用をするべき」の49.8%の順となっています。



◆その他の回答 (原文まま)

- ・学校教育の中に組み入れたり
- ・気持ちがあっても色んな広場などなど今まで活用、継承しても整備が長続き、定期的にされていない為、難しいのでわ？市町村、合併してから環境整備が行き届き不足を感じます。

## IV まちかどコメンテーターアンケートについて

### 1. 調査の目的

まちかどコメンテーターのアンケート調査は、多くの市民の意見やニーズを把握し、市政運営の参考とするために実施しており、回答率を上げることで、より効果的なまちかどコメンテーター事業とするため、アンケートの回数や、回答期間等のご意見をいただくため、アンケートを実施しました。

### 2. 調査結果を受けて担当課（市民協働課）からのコメント

「1年間のアンケート回数について」の設問において、「今年度と同様、6回がよいと思う（1回あたり2テーマ程度）」が69.0%、「1回あたりのテーマ数が増えてもよいので、回数を減らしたほうがよいと思う」が6.4%、「上記の1，2のどちらでもよいと思う」が24.1%となっていました。

「1テーマあたりの設問数」の設問において、「設問数をもう少し増やしても問題はないと思う」が27.6%、「設問数は増やさず、今の設問数を維持したほうがよいと思う」が56.7%、「設問数を減らしたほうがよいと思う」が15.3%となっていました。

また、「アンケートの回答期間について」の設問においては、「回答期間をもう少し短くしても問題はないと思う」が31.5%、「回答期間は短くせず、今の回答期間を維持したほうがよいと思う」が64.5%、「回答期間を長くしたほうがよいと思う」が3.4%となっていました。

このほか、自由意見では、「写真など文章だけでなく、イメージしやすい方がいいと思う。」「設問の文章を短く簡潔にする。」「アンケートの結果が反映したものがあれば後日でもいいので教えてほしい。」などのご意見をいただきました。

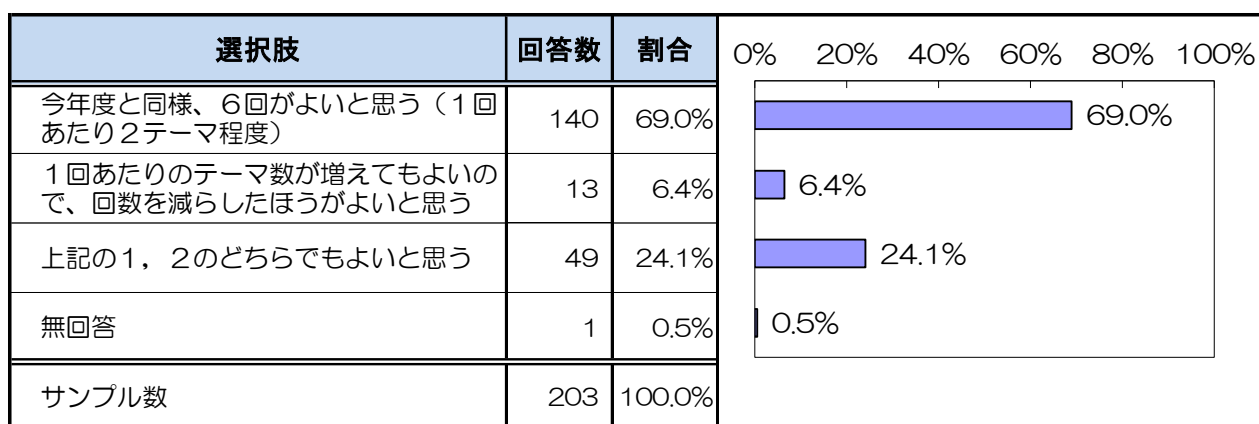
今回いただいたご回答から、アンケートの回数、設問数、回答期間については、概ね適切であることが分かる一方で、アンケートの内容、表現や、アンケート結果の反映状況の公開など、改善すべき点が見えてきたため、より効果的なまちかどコメンテーター事業を実施するにあたり、いただいたご意見を参考に改善を検討してまいりたいと思います。



### 3. 調査結果

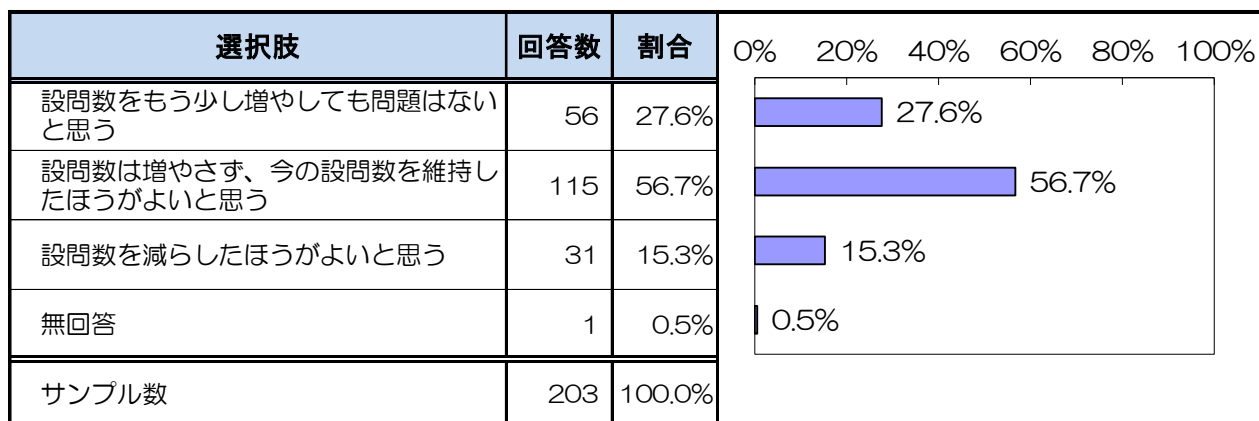
問 25 今年度、13 のテーマについて、6 回のアンケートを実施いたしました。来年度も同様のテーマ数でアンケートを行いたいと考えていますが、あなたは1年間のアンケート回数について、どのように思いますか。  
(単一回答)

「今年度と同様、6回がよいと思う（1回あたり2テーマ程度）」が 69.0%、「1回あたりのテーマ数が増えてもよいので、回数を減らしたほうがよいと思う」が 6.4%、「上記の1，2のどちらでもよいと思う」が 24.1%となっています。



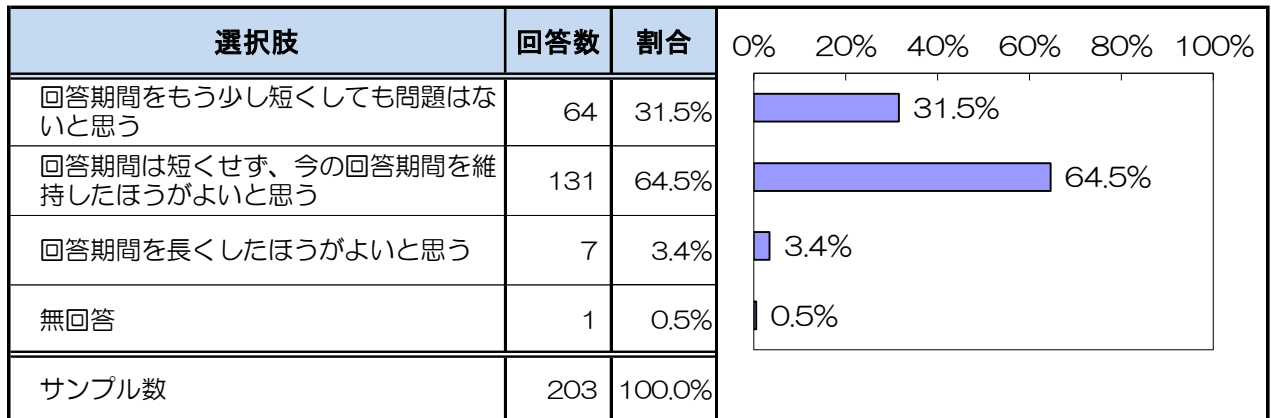
問 26 1テーマあたりの設問数（R3年度平均：12問）について、どれくらいが適当であると思いますか。(単一回答)

「設問数をもう少し増やしても問題はないと思う」が 27.6%、「設問数は増やさず、今の設問数を維持したほうがよいと思う」が 56.7%、「設問数を減らしたほうがよいと思う」が 15.3%となっています。



問 27 アンケートの回答期間（R3年度：約3週間）について、どれくらいが適当であると思いますか。（単一回答）

「回答期間をもう少し短くしても問題はないと思う」が 31.5%、「回答期間は短くせず、今の回答期間を維持したほうがよいと思う」が 64.5%、「回答期間を長くしたほうがよいと思う」が 3.4%となっています。



問 28 まちかどコメンテーターアンケート全般について改善してほしい点などがあれば、ご自由にお書きください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
写真など文章だけでなく、イメージしやすい方がいいと思う。	女	30歳代	喜入
設問の文章を短く簡潔にする。	男	40歳代	中央
知らないことや、難しい設問もあり、判断に迷った。さらにわかりやすい言葉を使ってほしい。	男	29歳以下	中央
とても回答しやすいので、このままでいい。メールの案内には【重要】とタイトルにつけてほしい。気づかない場合があった。	男	30歳代	中央
選択する項目がないものの、必須の為無理やり選択しなければいけないなど、やや設問が不親切なことがある。	男	50歳代	谷山
アンケートの内容がすこし分かりづらいと感じることが度々あった。内容についてもう少し簡潔にできればいいのではと思う。	女	30歳代	中央
質問が多いと思うことがよくあった。回数が増えても良いので、テーマは一つに絞って、短時間でできた方が良い。	女	29歳以下	中央
なるべく自由回答を減らして選択するもので答えやすいと思います。	男	60歳代	吉野
自由回答欄の答え方が分からなく、「特になし」と書いてしまうことが多かったので、回答例があれば何か書けたのではないかと思う。	女	29歳以下	伊敷
アンケートについては特に無いが、それぞれの課題について、検討の結果どういう対応をしたのか、簡潔に教えて欲しい。	男	60歳代	中央
アンケートの結果が反映したものがあれば後日でもいいので教えてほしい。答える側もその方がやる気が起こると思う。現在はやりっぱなし感が否めない。	女	40歳代	中央
1テーマ10問程度にして内容を充実したら良いと思います。	男	60歳代	中央
割引率の少ない割引パスポートはいらぬ。中途半端で、結局、使い切れない。施設を減らして、半額にするとか、どこでも1箇所無料で行けるなど…検討してほしい。	女	50歳代	中央
アンケート結果が簡単に見れるようにしてほしい。すでにHP等で見れるのかもしれませんが、前回の調査結果と今回のアンケートを一緒に送ってもらうとか。	男	60歳代	中央
アンケートを通して鹿児島に住んでいても知らないことも多く、色々学ばせてもらいました。街を歩いていた時に、あっ！これ！と思うことも多々…。楽しかったです。	女	29歳以下	吉野
今のままのスタイルで良い。選択式と記述式が適当なバランスで良いと思う。	男	60歳代	中央
特にありません。オンラインで簡単に回答できるのが良い。	男	30歳代	中央
知らない事が多いでした。それらを知る為にはいい機会を頂けたと思います。今の時代私達の年代でもSNSからの情報を元に行っているので、情報源をSNSにしていくと若い人が興味を持つのでは無いでしょうか？	女	50歳代	吉田